

事業コード	H18-建-再-1		区 分	国庫補助 県単独
事業名	秋田中央道路整備事業		部局課室名	建設交通部 都市計画課
事業種別	一種改築(バイパス)		班 名	街路班 (tel) 018-860-2444
路線名等	都市計画道路 秋田中央道路		担当課長名	高松 正彦
箇所名	秋田市旭北錦町-手形		担当者名	上席主幹兼班長 進藤 敏博
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	02	施策名	街なか活性化による賑わいの再生
	指標コード	04	施策目標(指標)名	都市計画道路整備率

1. 事業の概要

事業期間	H09 ~ H19 (11年)	総事業費	686.0億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=2,550m 幅員W=6.5(9.75)m					
事業の立案に至る背景	秋田市中心部を東西に連絡する本路線は、旭北錦町地区を起点に一級河川旭川下からJR秋田駅下を地下構造で通過し、秋田駅東地区へ至る自動車専用道路であり、中心市街地から秋田自動車道秋田中央ICへのアクセス機能を果たす主要幹線道路である。現在、秋田駅東地区の急速な発展により秋田市中心部へ向かう交通渋滞が著しく、将来においても交通混雑が予想されることから、当該路線の整備により、秋田駅東西間の連絡を強化するとともに、都市内の交通渋滞の緩和と中心市街地から高速交通拠点へのアクセス強化を併せて図るものである。					
事業目的	主要渋滞ポイントの解消 高速交通拠点へのアクセス改善 中心市街地活性化 三次医療施設へのアクセス改善 市町村合併支援					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	73,000,000	68,600,000	-4,400,000		
	経費内訳	工事費	59,227,000	54,869,239	-4,357,761	計画及び工法の見直しによる
		用補費	9,528,000	9,502,946	-25,054	
		その他	4,245,000	4,227,815	-17,185	
	財源内訳	国庫補助	28,050,000	28,563,095	513,095	
		県債	37,237,000	33,953,000	-3,284,000	
その他		4,380,000	4,167,230	-212,770		
一般財源	3,333,000	1,916,675	-1,416,325			
事業内容	調査設計 用地補償 トンネル工	調査設計 用地補償 トンネル工				
事業の進捗状況	工事全体の進捗率は8割を超えており、順調に進捗している。					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	あきた21総合計画における施策「街なか活性化による賑わいの再生」を支援する事業。秋田都市計画区域マスタープランにおいて、「おおむね10年以内に整備する主要な施設」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	秋田駅東地区の急速な発展により秋田市中心部へ向かう交通渋滞が著しく、通勤・通学に支障をきたしている。 秋田わか杉国体の支援事業である。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	都市計画道路整備率				
	指標式	整備済延長/都市計画決定延長				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	60 %		データ等の出典	都市計画年報	
	実績値 b	48 %				
達成率 b/a	80.0 %		把握の時期	平成18年 7 月		

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	特になし			
	指摘事項への対応			
	特になし			

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点		
必 要 性	急速に発展している駅東地区と既成市街地である駅西地区を連絡する主要幹線道路であり、早期に秋田市中心部の渋滞を解消し、交通円滑化を図る必要がある。 秋田自動車道秋田中央IC、秋田空港と秋田市中心部を連絡する地域高規格道路として位置付けられており、秋田都市圏の発展のためには欠かせない路線である。 県内各地域から秋田自動車道秋田中央ICを通過して秋田市中心部の三次医療施設へ至るアクセス道路でもある。	27点		
緊 急 性	秋田わか杉国体を支援する事業である。 あきた21総合計画における施策「街なか活性化による賑わいの再生」を支援する事業であるほか、秋田都市計画区域マスタープランにおいて、「おおむね10年以内に整備する主要な施設」として位置付けられている。 市町村合併支援道路として指定されている。	13点		
有 効 性	秋田市中心部と秋田自動車道秋田中央ICや秋田空港の高速交通拠点を連絡するため、地域活性化を支援することができる。 空洞化が著しい秋田市中心部への進入口を設けており、中心市街地活性化を支援することができる。	15点		
効 率 性	事業の費用便益比は2.11であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 781億円 ・総便益の現在価値 1650億円 暫定施工による事業費の縮減。 換気所配置計画の見直しによる階数の減、シールド処理土の有効利用、避難口の掘削工法の変更、土留支保工の配置見直しなどによりコスト縮減を図っている。	20点		
熟 度	工事全体の進捗率は8割を超えており、熟度は高い。	15点		
判 定	ランク ( ) 地域高規格道路として秋田市中心部と高速交通拠点との連絡強化、都市内の交通円滑化、中心市街地活性化、国体支援に大きく貢献するほか、全ての観点の評価が高いことから、引き続き事業を実施すべきである。	90点		
総 合 評 価	継続	改善して継続	見直し	中止
	事業継続は妥当である。			

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。
---------------------------

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 街路事業

事業コード(H18-建-再-1 )  
箇所名 (秋田市旭北錦町-手形 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	都市計画道路の規模・機能 道路の規模及び分類	主要幹線街路・都市高速道路 幹線街路 補助幹線街路 上記以外の補助幹線街路など	5 4 3 0	5	4車線以上かつ幅20m以上 2車線以上かつ幅16m以上 2車線かつ幅12m以上	
	都市構造上の機能	高速交通拠点と連絡する道路・都心軸道路 放射環状道路 都心軸を補充する道路 その他の道路	5 4 2 0			
	現況道路における問題箇所					
	交通容量不足(現況混雑度1.0以上)	有り なし	2 0	2	バイパス、新設路線については、競合する路線を現況道路とみなす	
	主要渋滞ポイント	有り なし	2 0			
	狭隘道路(車道幅5.5m未満)	有り なし	2 0	2		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令の基準に達しない道路)	有り なし	2 0			
	バス路線	有り なし	2 0	2		
	歩行者、自転車の交通量が比較的多い道 (自転車歩行者交通量500人・台以上)	有り なし	2 0			
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含 人身事故発生と地点)	有り なし	2 0	2		
	老朽橋梁	有り なし	2 0			
	通学路指定	有り なし	2 0	0		
	交通状況の変化					
	現況道路の交通量変動 (自動車・歩行者・自転車交通量)	増加 減少	5 0	5		
	計		35			
	緊急性	関連事業の有無				
		各種プロジェクト支援(県の主要プロジ ェクト・地域振興プロジェクト)	有り なし	1 0	1	
		大規模イベント支援 国体・インターハイ・万博など	有り なし	1 0		
		公共公益施設アクセス 市町村役場・病院・学校・公民館など	有り なし	1 0	1	
		他公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	有り なし	1 0		
		住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上の連絡道路)	有り なし	1 0	0	
		隣接区間の整備状況				
		隣接区間の整備状況	整備済み 未整備	5 0	5	
		防災機能向上への貢献度				
		・緊急輸送路又は代替路線 ・災害避難路 ・消防活動困難地域の解消路線 ・無電柱化計画	該当項目2以上 該当項目1 該当項目0	5 3 0	5	
		計		15		
		有効性	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度			
・高速ICアクセス ・港湾・空港アクセス ・新幹線駅又は特急停車駅等( )アクセス ・特急停車駅又は平均乗降客2000人/日 ・主要な観光地へのアクセス ・駅前広場の造成 ・広域道路整備計画			該当項目2以上 該当項目1 該当項目0	5 3 0	5	
市街地の活性化とまちづくりへの貢献度						
・DID区域内の事業 ・市街地再開発・区画整理等との連携 ・無電柱化計画 ・景観や中心市街地の特色あるまちづく りに資する事業 ・歩行者空間の確保	該当項目2以上 該当項目1 該当項目0		5 3 0	5		
安全で快適な生活環境への貢献度						
・バリアフリー ・二次・三次医療施設へのアクセス ・消・融雪施設の整備 ・堆雪幅の確保 ・道路緑化の推進	該当項目2以上 該当項目1 該当項目0		5 3 0	5		
計			15			

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 街路事業

事業コード(H18-建-再-1 )  
箇所名 ( 秋田市旭北錦町 - 手形 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
効率性	費用便益比 ( B / C ) 費用便益比 ( B / C )	1.5 以上	5	5		
		1.0 以上 1.5 未満	3			
		1.0 未満	0			
	計画交通量	計画交通量	10,000台 / 日以上	5		5
			4,000台 / 日以上 10,000台 / 日未満	3		
			1,000台 / 日以上 4,000台 / 日未満	2		
			1,000台 / 日未満	0		
	コスト縮減・リサイクル推進貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の発生抑制, 再資源化, 適正処理</li> <li>・リサイクル製品、再生骨材等の使用</li> <li>・新工法・新技術の採用</li> <li>・その他 ( 具体的事例 )</li> </ul>	該当項目 2 以上	5		5
			該当項目 1	3		
			該当項目 0	0		
	事業中止又は休止による影響	事業中止・休止した場合の成果に対する影響	代替手段がなく、影響が大きい	5		5
			代替手段はあるが、影響が大きい	3		
代替手段はあり、影響が小さい			0			
計			20	20		
熟度	都市計画事業認可に対する事業の進捗状況 事業の進捗	8割以上完了	10	10		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
	地域の協力体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進のための各種協議会等が設置されている</li> <li>・地域住民の取り組みが積極的である</li> <li>・市町村自ら積極的に用地交渉など事業推進に寄与している</li> <li>・買取り請求が複数ある</li> <li>・裁決申請 ( 予定を含む ) 物件がない</li> <li>都市計画法第 68 条による</li> </ul>	該当項目 3 以上	5	5	同盟会, 協議会, 連絡会議等各種説明会の出席率が高い
			該当項目 2	4		
			該当項目 1	3		
			該当項目 0	0		
計			15	15		
合計			100	90		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		